

葉山町教育委員会第1回臨時会会議録

- 1 開会年月日 令和6年8月5日(月)
- 2 開会場所 保育園・教育総合センター 会議室
- 3 出席委員 教育長 稲垣一郎
教育長職務代理者 小峰みち子
委員 鈴木伸久
委員 下位勇一
委員 清水衣里
- 4 出席職員 教育部長 虫賀和弘
学校教育課長兼教育研究所長 瀧名恵美子
学校教育課指導主事 沖野遼太郎 塚本徳幸 山口慎一郎
- 5 議長 教育長 稲垣一郎
- 6 書記 教育部長 虫賀和弘
- 7 開会 午後1時30分
- 8 閉会 午後3時28分
- 9 次第 日程第1 議案第10号 令和7年度使用中学校教科用図書の採択について

(開会宣言)

教 育 長) ただいまから葉山町教育委員会第1回臨時会を開会いたします。

本会議につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定による定足数に達しておりますので、有効に成立しております。

時刻は13時30分ちょうどでございます。

本日の臨時会について、傍聴人が18名いることをご報告いたします。傍聴人の方は携帯電話の電源をお切りくださるようお願い申し上げます。

本日の日程といたしましては、次第のとおりです。会議次第について、ご異議ございませんか。

委員全員) 異議なし。

教 育 長) ご異議なしと認めます。

なお、会議録作成上、質疑の際は挙手をしていただき、委員の名前を指名した後、発言をしてください。また、質疑をされるときは、何についての質疑かを明確にお願い申し上げます。

(議案第10号)

教 育 長) 日程第1「議案第10号 令和7年度使用中学校教科用図書の採択について」を議

題といたします。

議題について、説明を教育部長、お願いします。

教育部長) 議案第10号令和7年度使用中学校教科用図書の採択について。

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第1項の規定に基づき、中学校教科用図書を採択する。

(別紙)

令和6年8月5日提出

葉山町教育委員会

教育長 稲垣一郎

提案理由

令和7年度使用中学校教科用図書を採択する必要があり、葉山町教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第2条第1項第15号の規定により提案するものです。

なお、採択候補につきましては、参考資料のとおりです。以上です。

教育長) ありがとうございます。この件について何か補足がありますか。

学校教育課長) ただいまの議題につきまして、部長よりご説明を申し上げました。私からは、本日に至るまでの経過等につきましてご報告させていただきます。

4月19日に開催いたしました定例教育委員会において、「葉山町立小・中学校の教科用図書の採択方針」及び「葉山町教科用図書採択検討委員会の設置及び運営に関する要綱」を承認し、これに基づき採択事務を行ってまいりました。

今年度、「令和7年度使用小中学校教科用図書の採択」については、令和6年3月29日付文部科学省通知「令和7年度使用教科書の採択事務処理について」を受けて採択業務を行うこととなります。

小学校教科用図書の採択については、採択替えがないことから、7月17日に開催した「葉山町教育委員会7月定例会」において、令和6年度と同一の教科書を採択いたしました。中学校教科用図書の採択については、「全ての教科書について新たに採択を行うこと」となっておりますので、これからご審議をいただきます。

検討の経過ですが、令和6年5月8日、「第1回葉山町教科用図書採択検討委員会」を開催し、要綱の確認、委員長の選出等を実施いたしました。5月30日には、逗子市、三浦市、葉山町で構成する「2市1町合同研究委員会」及び「2市1町合同調査委員会」を開催し、資料作成等について説明し、調査を依頼いたしました。土・日を除く6月14日から7月3日までの期間、教育委員会（まなびの広場）において、教科用図書展示会を開催いたしました。7月16日、「第2回葉

山町教科用図書採択検討委員会」を開催し、種目ごと調査員からの報告と、本日の採択のための候補資料を作成し、本日に至っております。

説明は以上でございます。

教 育 長) ありがとうございます。ただいま議題に係る説明及び経過に係る補足説明がありました。ご質問はございますでしょうか。よろしいですか。

なしと認めます。

それでは、中学校で使用する教科用図書について、これから審議をしてまいりたいと思います。進め方は以下のとおりです。初めに、事務局から検討委員会の調査結果及び協議結果について説明を受けたいと思います。それを受けて我々委員で意見を出し合い、合議制で決定したいと思います。なお、検討委員会による候補を参考としますが、審議に当たっては原則として全ての教科書会社を対象にしていきたいと思います。

最後に、採択の決定方法につきまして確認いたします。決定は出席委員の過半数以上の推薦があることといたします。過半数に達する推薦が出なかった場合には、候補を2社に絞って改めて審議し、決定します。

決定方法についてご異議はございませんか。

委員全員) 異議なし。

教 育 長) ご異議なしと認めます。

それでは、早速審議に入ります。最初に「国語」から始めます。なお、意見を述べられる場合には簡潔明瞭にお願いします。

それでは、まず検討委員会の調査結果及び協議結果について事務局より説明をお願いします。

学校教育課指導主事) 初めに資料の確認をさせていただきます。資料1、教科用図書調査研究の結果、地域・保護者。資料2、教科用図書調査研究の結果、教育研究会。資料3、教科用図書調査研究の結果、調査員。資料4、候補を記した参考書類。資料5、令和7年度使用学校教育法附則第9条による教科用図書。加えて、社会科の採択に関する要望書、意見書等が2部提出されております。よろしくお願いいたします。

続いて、二次元コードについては、教科書本文のみの審議のため、参考とさせていただきます。

それでは、葉山町教科書採択検討委員会として協議した内容の概要を、種目ごとに説明させていただきます。

まずは「国語」です。各社共通して、見通しを持って学習に取り組める工夫をされている。

次に各社の特徴です。東京書籍。日本語の世界を探検するストーリー仕立ての

小単元があり、日本語の決まりや特徴を楽しみながら学べる工夫がなされている。また、謎解きのような、子どもが興味を持ちそうな工夫がある。

三省堂。私の読者体験では、有名な方の読書体験が記載されており、読書に親しみを持たせるきっかけとなる。また、紙の辞書の活用方法の提示があったり、日本の文学作品が他社のものより充実している。

教育出版。「言葉の小窓」では、季節に合った詩歌や和語、漢語などを扱い、語彙を豊かにする工夫が見られる。

光村図書。「季節のしおり」では、季節に合った詩歌で言葉の感性を育む工夫がされている。読書活動では、生徒の学習内容が具体的に書かれており、生徒同士の本を紹介し合う活動や紹介の仕方などが分かりやすく工夫されている。また、教材がとても多く、各領域の教材は多彩である。

以上4社の中で、採択検討委員会の候補となったのは、第1候補が光村図書、第2候補が三省堂です。光村図書は、四季に合った詩歌で言葉の感性を育む工夫や、各領域の教材が多彩である点が評価されております。三省堂は、読書を習慣化させる読書活動が取り扱われ、工夫されている点が評価されております。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。今の説明について委員のほうから何かご質問はございますか。よろしいでしょうか。

説明があったとおりですが、検討委員会では国語については第1候補が光村、第2候補が三省堂となっておりますが、各委員からご意見を賜りたいと思います。では、順にお伺いする形でよろしいですかね。では、清水委員のほうからお願い申し上げます。

清 水 委 員) 各社ともに非常に丁寧に作られた教科書であるということで、今回、私は光村に1票とさせていただきたいと思います。

理由といたしましては、学習の見通しが巻頭で表示されており、学習しやすいという点と、巻末にICT教育との関連性が示されており、学年ごとの学びや目的が分かりやすいと見受けました。また「学びへの扉」という、よくまとめられているコーナーがあり、国語を学習していく上で一つ一つ丁寧な学習の積み上げができる教科書ではないかということで、1票とさせていただきます。

教 育 長) ありがとうございます。続いて下位委員、いかがでしょうか。

下 位 委 員) 私も光村さんに1票入れさせていただきたいと思います。「学びへの扉」「学びへの鍵」というまとめ方が非常に分かりやすくてよかったですと思います。イラストが情緒的ではなく、分かりやすさを重視した方向性でまとめられているように見えました。白色度の高くない紙、あと薄くても耐久性のある紙が使われている

ようですが、重さに関しては他社と有為な差はありませんでしたが、白色度が低い紙は見やすいかなと思います。

あと、この教科書におけるICT活用のヒントが載っていることもよかったと思います。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。続きまして、小峰委員、お願いします。

小 峰 委 員) 今回、全ての教科書を採択するに当たって、自分なりの基準を持つことにいたしました。というのは、教科書を学ぶのではなくて、教科書で学ぶのであるわけですから、教科書どおりに授業を展開すればいいということでないということは、先生方、指導する方は十分承知していると思います。ですから、全て満足できるものではなくても、こういう点、この教科書のこういう点を利用すれば学びやすい授業になるだろうという、そこに注目して私は教科書を選んでいきたいと思いました。

まず国語ですけれども、私は教育出版を推したいと思います。教材文の前についている「学びナビ」というページ、ほかの教科書で言えば、後ろのページにつくことが、教材文の後ろにつくことが多いですけれども、前につくということで生徒一人一人がどういう視点で教材を読み進めていくか。探究的な課題を持って学びができるのではないか、それはとてもいい試みだと思いましたので、教育出版にいたしました。

ただ、光村、三省堂、東京書籍などは、学習の進め方や、質の高い教材文など、とてもいい教科書だと思います。ですから、ほかの教科書、教育出版じゃない教科書が選ばれたとしても、それはそれで価値の高いことだと思います。私が考えるのは、それぞれの教科書1冊の中に大変有名な作家の方とか著者の方が寄せている文章があるので、あの方たちの文書を子どもたち、生徒たちが自分のうちにその本をそろえようと思ったら、とても大変なことだと思うので、国語の教科書はそれぞれが副読本としてね、各社の教科書を置いていただきたいと思うくらい、とてもいい教材がそろっていると思っています。ですが、選ぶとしたら教育出版というふうに考えました。

教 育 長) ありがとうございます。では、鈴木委員、お願いします。

鈴 木 委 員) 私は、葉山が今、小中連携と小中一貫校を目指しておりますので、小学校との教科書の連動性といいますか、そういうものを考えなきゃいけないと思いながら、かといってあまりいつも同じようなものを選定していく、せっかく小中一貫校を目指すのであれば、思い切って教科書も変えてみたいなという気持ちと、もろもろいろんなことが頭の中に錯綜しているんですけど、やはり教科書本位で、教職員の皆さんの推薦するようなものをできるだけ採用しながらやっていきたいなと

思っています。

国語については、私は光村で。ほかと違って生徒にとって分かりやすいという項目については、非常に光村は評価が高いのでそこを買いました。

教 育 長) ありがとうございます。それでは、私のほうから意見を申し上げます。私は、結論から申し上げますと、三省堂を推したいと思っています。理由は、どの教科書さんも全て本当にしっかりとした構成をされていますし、小峰委員がお話しされたとおり、できれば本当に国語については、教材という部分の物の考え方をすれば、たくさん本を、教材をどれだけ読めるかということは非常に大きな問題で、いろんな本がその場で読めるのが一番いいだろうと思っております。

そういう中でも、三省堂を私が推させていただきますのは、中でも昨今、A I、A I という話になりますが、辞書の活用についてしっかりと話をされていて、その中で紙の辞書というものをどうやって引くのかということについては、国語を教えていく中でもいいところだと思っています。これも小峰委員がおっしゃったとおり、教科書を教えるわけではなくて、教科書でいかに教えていくかという観点からすると、当然ながらにして、辞書の活用も当然必要だと思っています。

さらに、視覚的な部分ですぐれているなど思った点と、それから安定教材を含めて文学作品がしっかりと充実されているというところがありましたので、私は三省堂を推したいと思っております。

それでは、全員からお話を伺ったところですが、ほかに皆さんの意見が出たところで何かご意見ございますでしょうか。

よろしいですか。それでは、ご意見も出尽くしたので、採択に移りたいと思います。各委員の意見をまとめますと、「国語」の教科書は3票入りしました光村になろうかと思いますが、いかがでございましょうか。よろしいですか。

委員 全員) 異議なし。

教 育 長) では、ご異議なしと認めます。よって、「国語」は光村の教科書を採択させていただきます。

続きまして「書写」のほうの採択に進みたいと思います。事務局から説明をお願いいたします。

学校教育課指導主事) それでは、続いて「書写」についてご説明させていただきます。

各社の特徴としては、東京書籍、見通しを持って学習に取り組み、振り返りを行うことができる構成となっている。

三省堂。筆圧や運筆のヒントになる白線が掲載されていることや、書写で学んだことを生活の中で役立てる工夫がなされている。

教育出版。学習の進め方では、教材ごとの目標や振り返り、日常生活へのつな

がりなどが示されている。

光村図書。学習の進め方では、思考、振り返り、発展につながる記載がコンパクトで分かりやすい。楷書体と行書体で示した常用漢字表が掲載されている。

以上4社の中で、採択検討委員会の候補となったのは、第1候補が光村図書、第2候補が教育出版です。光村図書は、「書いて身につけよう」や「日常の書式」を掲載し、書写で学んだことを生活の中で役立てる工夫が評価されています。教育出版は、課題が解決できたか、自己評価する学習活動があり、探究的に進める工夫があることが評価されています。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。書写については、今お話があったとおり、第1候補が光村、第2候補が教育出版となっております。それでは、各委員のご意見をお伺いしたいと思います。先ほどのとおり、順にお話をいただければと思います。清水委員、お願いいたします。

清 水 委 員) 私は東京書籍に1票とさせていただきます。国語の教科書と同じく光村図書も大変素晴らしい構成です。葉山町教育委員会定例会において STEAM 教育の重要性が度々のぼっています。東京書籍の『生活に広げよう』という実践事例集が、STEAM 教育のエンジニアリング、アート等に繋げやすく、考えと合致していると思います。他教科とのつながりは、ほかの書写の教科書も工夫されていますが、特に東京書籍が意識して作られていると思い、1票とさせていただきます。

教 育 長) ありがとうございます。続きまして、下位委員、お願いいたします。

下 位 委 員) 私も光村に1票入れさせていただきたいと思います。習字とか硬筆、行書、楷書が中心の教科かと思いますが、フォントの話ですとか、ユルバーサルデザインの話など、文字の形に関する考察がコラムの中でたびたび出てくることでは評価をいたしました。片や手書きによる自分らしい文字の例を、有名人のサインを使って解説したり、手書きの手紙の大切さを考えたり、ただ文字を書くだけではないまとめ方もよかったです。のりづけしてあり、取り外しのできる書写ブックというものもついておりまして、こちらも評価できるのではないかと思います。

ちなみに、教育出版の單元ごとにめあてとリフレクションがあるということは、非常に評価できて私は好きなのですが、全体的に見て、光村さんのほうを推させていただきたいと思います。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。続きまして、小峰委員、お願いいたします。

小 峰 委 員) 私は書写については光村図書を推したいと思います。まず、大変学習すべきねらいと内容が分かりやすい。それから、下位委員もおっしゃいましたけれども、ふだん子どもたちが使っている書体についての言及があるというところも、日常

生活に即した学びができるかなと思います。正直言って、他の教科書と差異が特段あるわけではないんですけれども、今申しましたように、どこを重点にするか、書くためのキーポイント、学びを意識させるという点で、光村図書にしたいと思っています。

教 育 長) ありがとうございます。それでは、鈴木委員、お願いいたします。

鈴木委員) 私も学校視察のときに、国語と書写は一緒のほうがいいのかという考え方、常に持っていたんですけれども、授業を見ている限り、別にそこに特に意識はあまりいらんんじゃないかなと思ひまして、伝統文化の教育の充実の中では、三省堂さんと光村さんがかなり評価が高いので、ここは思い切って変えてみたいなところがあるものですから、私は三省堂で。

教 育 長) 分かりました。三省堂ということで。私のほうは、光村を推させていただきたいと思います。既に何名かの委員の方からお話もありましたが、日常の学習や生活に役立つ工夫や配慮について、しっかりと言及されているところであるとか、書写ブックが付属をしていて、先ほど申したところもそうですが、楷書とか行書とか、本当に様々な形で書写というところについての興味というんですかね、そういうところもしっかり持たせられるように、より工夫がされていると思ひました。かといって、じゃあほかのところという話ではないので、その中で選択をすれば、光村ということにさせていただければというところでございます。

各委員からお話いただきましたが、ほかにご意見、さらにということはございますでしょうか。よろしいですか。

各委員の話をお伺いするところでは、「書写」の教科書は光村になろうかと思ひますが、いかがでございましょうか。

委員全員) 異議なし。

教 育 長) よろしいですか。ご異議なしと認めます。よって「書写」は光村の教科書を採択します。よろしく申し上げます。

続きまして、「地理」のほうに移りたいと思います。事務局、説明をお願いいたします。

学校教育課指導主事) それでは、続いて「地理」についてご説明させていただきます。

各社共通して、社会的な見方、考え方を分かりやすく示す工夫がされている。

次に、各社の特徴です。東京書籍。章の最初に単元を貫く問いが設定されており、各節の学習課題の設定があり、単元計画が立てやすい構成となっている。

教育出版。探究的な問いとしては、各節ごとに設定している。

帝国書院。探究的な学習としては、巻頭ページに思考ツールが示されており、単元での活用例も示されていることや、単元を貫く問いが設定されている。また、

節ごとの問いはかっちり決めていなく、授業者で柔軟に設定できる。

日本文教出版。探究的な学習としては、自分たちで問いを設定していくような形になっている。章の冒頭に「学習のはじめに」が設けられ、見通しを持って学習に取り組める工夫がされている。

以上4社の中で採択検討委員会の候補となったのは、探究的な学習を進めるの
によい2社から、第1候補として帝国書院、第2候補は東京書籍です。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。今の説明のとおり、地理については第1候補が帝国、
第2候補が東書となっております。それでは各委員のご意見を伺いたいと思いま
す。清水委員からお願いいたします。

清 水 委 員) 私は帝国書院に1票とさせていただきます。理由といたしましては、主体的で
対話的で深い学びという観点が特に重要になってくる場面において、帝国書院の
教科書はすぐれていると感じました。例えばヨーロッパ州の学びでは、非常にペ
ージが割かれておりまして、一元的な見方ではなく、多元的な見方がされている
という点、これからさらに世界の中で生きていく葉山の子ども、児童を育てると
いう点で適している内容ではないかと考えまして、1票とさせていただきます。

教 育 長) ありがとうございます。下位委員、お願いいたします。

下 位 委 員) 私は帝国に1票入れさせていただきます。世界や日本の諸地域の学習では、写
真で眺めるという興味を沸かせるようなページから始まりまして、最後に学習の
振り返りがありました。自然と学びに向き合いやすい工夫がされていると思いま
す。

あと、特設ページではありますが、オーバーツーリズムなど最近の問題につい
ての説明があり、刻々と変化する社会情勢を学ぶためにも意味があるページだ
と思いました。

ちなみに、二番手として私が思ったのは日本文教出版なんですが、こちらは
「学習のはじめに」というめあてがありまして、そして最後には必ずまとめと振
り返りというリフレクションがありました。この姿勢は非常に私としては好きな
んですけれども、全体的に見まして帝国にさせていただきました。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。小峰委員、お願いいたします。

小 峰 委 員) 私も地理については帝国書院を推したいと思います。学習課題の提示の仕方が、
生徒がその先の疑問を具体的に持ちやすい、そういう発問の仕方というか、提示
の仕方になっているということです。どういうことかということ、例えば他の教科
書では、北アメリカの工業にはどのような特徴があるかという投げかけ方に対し
て、帝国書院では、北アメリカの工業はどのように変化しながら世界をリードす
るまでに発展してきたのだろうという、そういう言葉の投げかけ方というのは、

子どもたちも、あ、アメリカってここにくるまでにずっと変化してきたのかとか、今、世界でリードする立場にあるんだなというように、子どもの中に自分が何をこれから勉強していこうかという課題が起きやすいという点、そういう投げかけ方は大変いいなと思いました。

ただ、東京書籍の各単元のまとめの活動というページに、地球的課題を振り返ろうというのがあるのは、それは大変いい言葉を投げかけているなと思います。こういう言葉は、ほかの地理にかかわらず大変必要な視点だと思いましたので、これからの教科書の中では、あるいは指導する先生方の中には、こういう地球的課題をとというような言葉を子どもに投げかけてあげられるようになったらいいなと思いました。長くなりましたけれども、結局は帝国書院です。

教 育 長) ありがとうございます。続きまして、鈴木委員、お願いいたします。

鈴 木 委 員) 私は結論から言って東書で。思考力、判断力、表現力等の中で評価が非常に高いということと、社会的・歴史的な見方・考え方というのはすごく大事だと考えていまして、これに対しても高い評価を得ていますので、私は東書で。

教 育 長) ありがとうございます。それでは私のほうは、帝国書院を推させていただければと思います。非常に視覚的にも見やすいというところがあり、それから特設ページでアクティブ地理等々で、生徒との話合いの関係に向かわせる教科書づくり等々もされていますし、当然その中では主体的、対話的で深い学びの実現に向けて学習活動の工夫がされていると考えます。地図帳を活用した学び方が紹介されている点も、非常にいいところだろうと考えます。思考ツールも含めたところで、帝国書院を推させていただければと思います。

それでは、地理の教科書については、今のところでいくと、帝国書院が4票ということで、帝国書院になろうと思いますが、いかがでございましょうか。各委員のほうで、さらに意見等ございますか。よろしいでしょうかね。

それでは、先ほど申したとおり、「地理」の教科書は帝国書院を採択という形でよろしいでしょうか。

委 員 全 員) 異議なし。

教 育 長) それでは、ご異議なしと認めます。よって「地理」は帝国書院の教科書を採択いたします。

続きまして、「地図」についての審査に入ろうと思います。事務局より説明をいただきます。よろしく申し上げます。

学校教育課指導主事) それでは、続いて「地図」についてご説明させていただきます。

各社の特徴としては、東京書籍。デジタルコンテンツが充実しており、情報活用能力を育成する工夫がなされている。また、地図帳独自の問いの設定がある。

帝国書院。教科書とリンクした問いの設定になっている。小学校での学習を振り返る記述があり、小・中間の円滑な接続を意識した配慮がなされている。

以上2社の中で、採択検討委員会の候補となったものは、教科書との関連性も高いとの調査員からの報告もあり、第1候補として帝国書院、第2候補として東京書籍です。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。地図については、第1候補が帝国、第2候補が東書となっていますが、各委員のご意見を伺いたいと思います。清水委員、お願いいたします。

清 水 委 員) 私は帝国書院に1票とさせていただきます。理由といたしましては、関連性の高い地理の教科書でも帝国書院に1票入れさせていただきましたが、フォントや紙面のレイアウトが非常に見やすいと思います。例えば地図での国名なども、分かりにくい部分では四角で囲むなど、細かく丁寧な工夫が随所に散りばめられており、見やすいという点は地図を扱う上で一番重要な点かと思いますので、1票とさせていただきます。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。下位委員、お願いいたします。

下 位 委 員) この教科は、正直特徴を出すのは難しいんだと思いました。どの出版社も似通った内容であり、例えば東北地方は、見開きプラス1ページといったような構成で表現していることがありました。選択することが難しいのですが、私としては帝国を推させていただきたいと思います。

地図で考える持続的な社会のコンテンツというものがあまして、こちらが充実しておりました。コンテンツも充実しておまして、特に統計のまとめは見やすかったです。あと、地域を眺めてみようというページが幾つかあるんですが、こちらイラストを使っていて、非常に分かりやすかったです。子どもたちにも入りやすい内容だと思いました。以上の理由で帝国を推させていただきます。

教 育 長) ありがとうございます。それでは小峰委員、お願いいたします。

小 峰 委 員) 私も地図は帝国書院を推したいと思います。清水委員がおっしゃったように、まず大変見やすいです。地名等が分かりやすい、そういう点が、地図の強みだなと思いました。それから、私が大変気に入っているというか、いいなと思っているのは、一番近い隣の国である韓国、北朝鮮が入っている朝鮮半島を大変大きな地図で示してあって、あんなにじっくりと朝鮮半島を見るということも、子どもたちにとってあまりないのではないかと思います。そういう意味でも、そのような提示の仕方ができている帝国書院の地図を推したいと思います。

教 育 長) ありがとうございます。鈴木委員、お願いいたします。

鈴 木 委 員) 私も下位委員と一緒にですね、どちらも甲乙つけがたいというのが正直なとこ

ろで、どこがいいかという、ほとんど両方いいほうも悪いほうも同じようなものだろうなと思いました。ただ、両方とも葉山は載っているんですけど、東書のほうが葉山が非常に見やすいです。単純にそれだけの理由で東書。

教 育 長) 私は、帝国書院を推させていただければと思います。何名かの委員から話がありました。まずは地図でございますので、子どもたちにとって見やすさというところについてをまず観点として見ております。ともに一生懸命作ってられる地図なので、本当に甲乙つけがたいというところも実態だと思います。これも委員から話がありましたが、参考程度に見させていただきましたQRコンテンツ、これについては帝国書院、非常に充実していると考えております。そういう中で地図を見ていくと、そこからまた問いを作っていけるだろうというところも感じておりますので、帝国書院を推させていただければと思います。

各委員のほう、意見が出ましましたが、ほかに何か意見ございますでしょうか。そうしますと、「地図」の教科書につきましては、帝国になろうと思いますが、いかがでございましょうか。よろしいですか。

委員 全員) 異議なし。

教 育 長) ご異議なしと認めます。よって、「地図」は帝国の教科書を採択させていただきます。

続きまして「歴史」に移りたいと思います。歴史について事務局からご説明をお願いいたします。

学校教育課指導主事) それでは、続いて「歴史」についてご説明させていただきます。

説明の前に、社会、歴史的分野を発行している学び舎ですが、本町に今回は見本本の送付がなかったことから、本町の採択検討からは除外していることを申し添えます。

では、説明に入らせていただきます。各社共通して、冒頭に歴史的な見方、考え方を得るための工夫がされている。

次に各社の特徴です。東京書籍。単元の導入に探究課題が設定されており、単元全体で見通しを持ちつつ、課題追究を行う構成となっている。

教育出版。1時間ごとに学習課題、確認、表現が掲載され、学習を深める工夫がなされている。また、章ごとにも問いが設定されていて、見通しを持って学習できる。タイトルの上に年表を示すことで、時代の流れをつかみやすい構成となっている。

帝国書院。前書きに歴史を学ぶ意義が明記され、今後の生活へのつながりを意識した構成となっている。「国際社会におけるこれからの日本」というテーマがあり、紛争の復興に尽力した方の紹介などもされている。

山川出版社。小單元ごとに学習課題が設定され、見通しを持って学習に取り組むことができる構成となっている。高校での学習を意識し、因果関係を重視した記述がある。

日本文教出版。1時間ごとの学習課題が設定されているとともに、見方、考え方のポイントが掲載されており、生徒の理解につながる工夫が見られる。写真は少し小さいが、量は豊富に掲載されている。

自由社。節の終わりには「もっと知りたい」や「調べ学習のページ」が設定されており、生徒の興味・関心をひきつける内容となっている。他出版社よりも細かな用語が太字で表記されている。

育鵬社。「学習のまとめ」では、それぞれの時代の特色を振り返りやすい工夫がなされている。また、「日本の歴史のモノサシ」によって、西暦と世紀のつながりが分かりやすく表現されている。

令和書籍。前書きにおいて、国家とは何かを解説し、その歴史を知ることの重要性が説かれている。また、天皇や神話についての内容が多く取り上げられている。

以上8社の中で、採択検討委員会の候補となったものは、第1候補が帝国書院、第2候補が東京書籍です。帝国書院は、コラムやイラストによって生徒が歴史に興味を持つきっかけとなる工夫が見られることか評価されております。東京書籍は単元の最後に思考ツールを用いての整理、分析が行える構成となっていることが評価されております。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。歴史の教科書、歴史的分野については、第1候補が帝国、第2候補が東書となっております。では、また各委員のご意見を承りたいと思います。清水委員、お願いいたします。

清 水 委 員) 私は帝国書院に1票とさせていただきます。理由といたしましては、現代の記述がしっかりしているという点を評価いたしました。日本の中の葉山の子どものことではなく、今後一層世界の中での日本人、世界の中に活躍していく子どもたちの教育を推進する必要があり、ウクライナの表記などがきちんとなされているという点に大変好感を持ちました。ですので、帝国書院に1票とさせていただきます。

教 育 長) ありがとうございます。下位委員、お願いいたします。

下 位 委 員) 私は東京書籍に入れさせていただきます。章ごとに思考ツールを用いられたまとめと振り返りのページがありました。日本の歴史では、時代に応じた屏風絵などであったり、視覚的にもその時代の工夫がされています。1時間ごとの問いであります学習課題というものを通して、探究課題を追究するという構

造も非常にいいかなと思いました。

あとは、めあてが分かりやすく工夫されているのも非常によかったです。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。小峰委員、お願いいたします。

小 峰 委 員) 私は歴史的分野については帝国書院を推したいと思います。今、下位委員がおっしゃった東京書籍も大変分かりやすいというか、授業をするに当たっては大変バランスのいい紙面の作り方をしているということはよく感じます。ただ、先ほど清水委員がおっしゃったように、ウクライナのことですとか、それからアフガニスタンで活躍した中村哲さんのことが紹介されているということで、これからの国際社会での日本人の在り方を考えさせるようなことは意義があります。それからもう一つは戦争の記述の中に、沖縄戦を大きく取り上げているという点では、大変いい企画が入っているなということをおもいましたので、帝国書院にしたいと思います。

教 育 長) ありがとうございます。鈴木委員、お願いいたします。

鈴 木 委 員) 私は結論からいきますと東京書籍。情報活用能力が非常に高い印象は受けているんですけど、情報というのは特に歴史の場合大事でして、その都度考え方が変わるようなものもありますので、全体的に小峰委員が言われたように、どちらもすぐれたものは帝国書院ですが、私は東京書籍。

教 育 長) ありがとうございます。私は、帝国書院を推したいと思います。歴史を学ぶ上で、どうやって興味を持たせるかというところは、各社さん本当にご苦労もされていますし、工夫もされていると考えております。中でも、ほかの教科書にもあったと思いますけれども、小学生で学んだという小学生マークがついていたりとか、それからタイムトラベルという形で、世界から日本を学ぶ視点があったりとか、これも委員からも話が出ましたが、コラム記事の中で沖縄戦のことであったりとか、最後の部分で国際社会における日本の位置を確かめるためのウクライナ支援の話であるとか、アフガニスタンの中村さんの話が載っていたりとかというところで、しっかりと今の日本の子どもたちが何をどう考えていけばいいかという軸を感じたというところで、帝国を推させていただければと思います。

ほかに委員の方々から意見はございますか。

そうしますと、「歴史」については、帝国書院になろうかと思いますが、各委員の方々、いかがでございましょうか。よろしいですか。

委 員 全 員) 異議なし。

教 育 長) ご異議なしと認めます。よって、「歴史」は帝国書院という形で採択させていただければと思います。

続きまして、「公民」に移りたいと思います。公民について、事務局より説明をお願いします。

学校教育課指導主事) それでは、続いて「公民」についてご説明させていただきます。

各社の特徴としては、東京書籍。見方、考え方は生徒間での議論につながる問いが設定されている。探究のステップが設定されていて、学習を深められるようになっている。

教育出版。各章の冒頭に単元の導入として生徒の考え方を表出するページがあり、それをまとめて再度取り上げる作りになっていることで、生徒の理解につながる工夫がなされている。「学習を始める前に」では、自分たちで見通しを持って進められるようになっている。

帝国書院。現代社会の見方、考え方を巻頭ページの中で取り上げ、見方、考え方を意識して公民の学習を進められる工夫がされている。コラムページに生徒間の話合いや、さらなる探究につながる内容が掲載されている。

日本文教出版。各章の初めに探究学習につながる問いが設定され、見通しを持って学習が進められる構成となっている。

自由社。見開き2ページで問いが設定されており、基礎・基本の定着をねらった構成となっている。

育鵬社。学習課題の設定がなく、授業者による問いの設定がしやすい構成になっている。

以上6社の中で、採択検討委員会の候補となったのは、第1候補が帝国書院、第2候補が東京書籍です。帝国書院は、各章の導入において学習内容と日常生活の関連性がイラストなどで用いて示されていることが評価されております。東京書籍は、各章の導入が工夫されていることが評価されております。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。公民については、第1候補が帝国、第2候補が東書となっております。それでは各委員から意見を伺いたいと思います。清水委員、お願いいたします。

清 水 委 員) 私は東京書籍に1票とさせていただきたいと思います。公民に関しましては、政治の問題など若い方たちの無関心が問題になる中、東京書籍の教科書は自分事として問題を捉えていくという点ですぐれていると感じました。具体例を申し上げますと、少子高齢化の項目などでは、イラストで「ちびまる子ちゃん」ですとか、「クレヨンしんちゃん」が用いられておまして、非常にイメージがしやすい、分かりやすいと思います。そういった工夫がされている点で、東京書籍に1票とさせていただきたいと思います。

教 育 長) 下位委員、お願いいたします。

下位委員) 公民は帝国を推させていただきます。「学習の前に」というページがありまして、単元で学習をすることをイラストを用いて一覧できるようになっていました。キャラクターのせりふとしてのまとめもありまして、より単元の理解を助けていると感じています。2ページ以上にわたります振り返りのページもございまして、探究学習を補助するようなページもございまして、情報社会、電子マネー、AIと、新しい技術に関する記載も不足がないと感じました。あと、「18歳への準備」というページ、特設ページがございまして、成人年齢引下げだけではなく、メディアリテラシーなどに触れられていたのが好感を持ちました。以上です。

教育長) ありがとうございます。次、小峰委員、お願いいたします。

小峰委員) 公民は帝国書院を推したいと思います。その前に、帝国書院に限らず、公民の教科書を中学3年生が端から端まで、本当に読み物としてしっかり読んでくれたら、大変立派な心構えというか、自分たちはどういう立場に置かれているのかということ意識できる、そういう意味でも公民の教科書のすばらしさを感じたところでは。

とはいえ、どれか1つ選ばなければいけない点では、教科書の作り方としては、下位委員がおっしゃったことに代表されると思いますが、私は特に推したかったのは、「18歳への準備」というコーナーがまとめとして5か所ぐらい出てくるんです。東京書籍も2か所ほどそういう、18歳への準備のようなのが出ているんですけども、内容的には帝国書院の「18歳への準備」という言葉で書かれているところが大変いい内容が書き込まれていると思いました。中学3年生も卒業してから3年後にはもう成人として扱われるんだよという、その心の準備を促すためにも、いい企画だなと思いました。そういうことも含めて、帝国書院を推したいと思います。

教育長) ありがとうございます。鈴木委員、お願いいたします。

鈴木委員) 公民の全体評価を見るとですね、帝国も高いですけども、東書が一番評価が高いですね。体験活動だとか、生徒の使いやすさを考えて、評価が高いので、私は東京書籍。

教育長) ありがとうございます。私は、帝国書院を推させていただければと思います。既に各委員から話がありましたが、やはり主権者教育の充実というところは、これから先、非常に公民的な分野については大きいと思っています。そういう中では、「18歳への準備」という特設ページではありますが、非常に重要だと思います。さらに公民プラスという部分での実社会の動き等々もしっかりと言及されているところも含めて、帝国書院を推させていただければと思います。

「公民」につきましても、帝国書院になろうかと思いますが、各委員の方々、

ほかに何かございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、ご異議なしと認めさせていただきまして、「公民」については帝国書院の教科書を採択させていただければと思います。

続きまして、「数学」に移りたいと思います。数学について、事務局よりお願いいたします。

学校教育課指導主事) それでは、続いて「数学」についてご説明させていただきます。

各社共通して、数学をただ解ければよいのではなく、なぜ勉強しているのか、どこからこの考えが起きているのかという、数学史に対する工夫がされている。

次に、各社の特徴です。東京書籍。体験学習の充実について、方眼上に異なる面積の正方形を書く学習活動が設定されている。

大日本図書。生徒の学習上の困難さへの対応について、学習内容のつながりを持つ既習の事柄を「思い出そう」に掲載されている。

学校図書。言語活動の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり、記述を読んだりする学習活動が「条件を変えて考えよう」に設定されている。

教育出版。伝統や文化に関する教育の充実について、日本で独自に発達した数学の紹介が「和算と算額」に掲載されている。

啓林館。主体的で対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり、方法を検討したりする学習活動が「1日乗り放題チケットを買ったほうがいい」に設定されている。

数研出版。伝統や文化に関する教育の充実について、日本で独自に発達した数学の紹介が「日本の数学 和算」に掲載されている。

日本文教出版。伝統や文化に関する教育の充実について、江戸時代に発達した和算の研究者の紹介が「和算の秘密を明かした大名」に掲載されている。

以上、7社の中で採択検討委員会の候補となったのは、第1候補が数研出版、第2候補が啓林館です。数研出版は、導入の前に振り返りのページがあり、苦手な生徒にとっても扱いやすいことが評価されました。啓林館は、生徒の学習上の困難さへの対応について、学習内容とつながりを持つ既習の事柄を「振り返り」に掲載されていることが評価されました。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。数学については、第1候補が数研、第2候補が啓林館となっています。では、各委員のご意見を頂きたいと思います。清水委員、お願いいたします。

清 水 委 員) 私は啓林館に1票とさせていただきたいと思います。生徒自身が興味を持つような紹介の工夫が見受けられています。学ぶ意識を伝える、どうして方程式を学

ばなければいけないのかというようなことは中学生がよく思う、自分もそう思いましたけれども、それがこのように実体験、自分の生活の中に取り入れられていくというような導入が工夫されていると思いました。また、小学校、中学校で葉山町の学校ではグループ学習が数学でも非常に取り入れられております。啓林館では「話し合おう」というようなコーナーが設けられておまして、そういった学習の仕方に適した教科書ではないかなと考えましたので、1票とさせていただきます。

教 育 長) 下位委員、お願いいたします。

下 位 委 員) 数学に関しては、各社特徴があまりなく、特に学習内容については割と近いなと感じました。指導要領があるので当然かと思うんですが、例えば同じ章、3年生の円に関する章は、各社の教科書を並べてめくってみても、ほぼ同じような内容が並んでいるような感じでした。

その中で、幾つかの理由から数研を私は推させていただきたいと思います。先ほど指導主事の説明もありましたが、日本の数学、和算に掲載されているものがあるのが非常にいいかなと思いました。

あと、こちら白色度が低い紙、色のコントラストなどがあまり強くなく、ユニバーサルデザインにもより対応した紙面だと感じました。ICTを利用したコンテンツも非常に充実しておまして、動画で解説する多項式の解説なども非常に分かりやすかったです。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。数研でよろしいですか。

下 位 委 員) はい、数研で。

教 育 長) 小峰委員、お願いします。

小 峰 委 員) 私も数学は数研出版を推したいと思います。最初は、清水委員がほとんど言ってくださったような理由から、今使われている啓林館がいいんじゃないかなと思って、そのよさを考えていたんですけども、葉山で推されている第1候補が数研だということは、もうちょっと数学が苦手な子にも分かりやすいというか、入りやすい教科書も求められているのかなと思いました。確かに数研出版のものは、使われている言葉が分かりやすいという点、それから各章の前に、指導主事がおっしゃってくださったように、振り返りがあって、スモールステップを踏んで単元に入りやすいという点では、子どもたちにとって、数学の苦手な子については、分かりやすい教科書になるのかなと思いました。分かりやすいことの例では、例えば2年生の証明で使われている言葉なんですけれども、ほかの教科書ではAならばBというとき、Aを仮定、Bを結論という、このような言葉で示されているのに対して、数研出版は、Aは初めから分かっていること、それを仮定という。

Bは証明されたこと、それを結論という、と書かれていました。ちょっと数学が苦手だなと思っている子たちも、ああ、なるほどというふうに分かりやすく説明されているかなと思いました。

あと、東書なんですけれども、数学の好きな子には東書の導入は工夫されていて、興味を引かれるものがあるなと思いました。ただ、読解力が必要だと思いました。このことは何を意味しているのかな、少し読解力が必要な導入の仕方なので、数学の苦手な子にはハードルが高いかなという感想を持ちました。それで、第1候補に上がっている数研を推したいと思います。

教 育 長) ありがとうございます。鈴木委員、お願いいたします。

鈴 木 委 員) 私も数学はどちらかという、ついていけなくなる可能性の高いものなんだろうと思っています。ただ、その中でもやっぱり数研出版さんのほうが私のように勉強の嫌いな人間にはちょうどいいのかなと感じましたので、私は数研出版で。

教 育 長) ありがとうございます。私も数研を推したいと思います。理由としては、もう委員のほうから話が出ましたが、やはり数学というか、算数時代になかなか算数になじめなかった子たちにもう一度中学校のスタートラインから数学としての面白み、それから分かりやすさを分かってもらうためには、数研のほうがより分かりやすいというふうに、現の数学を教えている教科担当のほうからもそんな話があったことも大きく影響している部分で、その確認をしましたが、確かにそのとおりだなというふうなところがございます。

数学についてはどの教科書もこれも本当に一生懸命作ってられるので、それほど大きな差がありませんが、その差になったのは、数学の苦手な子には非常に教えやすいのではないかと。ここについては、「教科書で」ではなく「教科書を」教えないといけないときがありますので、まずそこを確認させていただいたというところで、数研を推させていただければと思います。

よって、「数学」については数研になろうと思いますが、ほかの委員の方、何かほかにご意見ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、「数学」につきましては数研になろうと思います。何かご異議があればということですが、ご異議ありませんでしょうか。

委 員 全 員) 異議なし。

教 育 長) よろしいですか。それでは、ご異議なしと認めます。よって、「数学」につきましては、数研を教科書として採択させていただきます。

続きまして、「理科」について事務局より説明をお願いいたします。

学校教育課指導主事) それでは、続いて「理科」についてご説明させていただきます。

各社共通して二次元コードによって実験の操作などが分かりやすく示す工夫がさ

れている。

次に、各社の特徴です。東京書籍。章末に重要な用語がまとめられており、振り返りがしやすくなっている。

大日本図書。教科書の内容は変わっていないが、小学校での学習とつながる記述があるなど、見通しを持って学習に取り組むことができる工夫がある。

学校図書。SDGsと関連させた構成となっている。

教育出版。重要な単語をオレンジ色で記載するなど、工夫も見られる。ルビ振りの工夫もされている。

啓林館。地球分野の地層など、写真資料が豊富で、観察に行けなくても十分に補える。

以上、5社の中で採択検討委員会の候補となったのは、第1候補は啓林館、第2候補が大日本図書、東京書籍です。啓林館は資料集や振り返りシート、問題集などの要素が含まれており、様々な活用方法が考えられる点が評価されました。大日本図書は、3年生の生命で生態系が入っており、学習内容の関連を意識した構成となっている点が評価されました。東京書籍は、読み物教材が充実しており、学習内容と日常生活のつながりが分かりやすい点が評価されました。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。理科については、第1候補が啓林館、第2候補が大日本並びに東書となっています。それでは、各委員からご意見を頂きます。清水委員、お願いいたします。

清 水 委 員) 啓林館に1票とさせていただきたいと思います。紙面の構成が非常に見やすいというのが一番のポイントになります。中学の授業を視察させていただきましたが、実験はもちろん、先生が海から海洋生物を採取し教材とするなど、体験・経験していくという授業が充実していると思いました。それに伴い教科書は実験の過程が分かりやすく、生物などの写真も見やすい教科書が適していると考えます。探求的な学習を進めていく上で、啓林館に1票とさせていただきたいと思います。

教 育 長) 下位委員、お願いいたします。

下 位 委 員) 私も、5社見させていただいて、啓林館か東書かなと思っていたんですが、東書のほうですが、科学や物理を探究するハテナマークというテーマや、章末に用語のまとめがあり、その章の振り返りにも活用できるかなと思うものが多くありました。あと併せて、確かめ問題や活用問題も充実していました。音・エネルギーの例として、スポーツ選手の動きを多く取り入れているので、子どもたちにも入りやすいかなと思います。

啓林館のほうなんですが、全体的に写真やイラストが大きめで、飽きさせない構成になっていました。低学年からのつながりが理解しやすい工夫もされていると思います。写真つきの周期表が工夫されていて分かりやすかったですし、3年間の間に3回周期表が出てくるところも好感が持てました。あとは、QRコードか

らの振り返りシートや問題集も充実しており、動画も多く掲載されているので、そこもいいかなと思います。

東京書籍は、教科書の表紙に写真が載ってるんです。今回の教科書を全体的に見ても、人の顔の写真が表紙になっている教科書の例はなく、1年間使う教科書としては少しどきっとしちゃうかなと思いました。最終的には啓林館とさせていただきたいと思います。

教 育 長) ありがとうございます。小峰委員、お願いいたします。

小 峰 委 員) 私は今使われている大日本を今回も推したいと思いました。導入の仕方が丁寧だなということと、先ほどの数学の数研出版にもつながるところかもしれないけれども、子どもたちに分かりやすい言葉で説明されていることも多いということです。例えば、濃度の表わし方のページがあったんですけども、飲み物にお砂糖を入れたときに、どれが濃いか薄いかというのはどうやって調べたらいいだろうという投げかけがあって、子どもが自分で濃度の表し方を考えることを促していくやりかたなんですけれども、ほかは、濃度とは全体の質量に対する溶けているものの質量というように定義として入ってくるんですけども、大日本では、その水溶液の濃度はどう表していったらいいだろうかというところから、子どもたちが多分そこで話し合いをしながら、全体の量の関係なのか、中に溶けているものの量も関係あるなどというふうにして、いわゆる質量パーセント濃度というのに導いていくというような教科書になっていました。そういう点では大日本を評価したいと思いました。大日本です。

教 育 長) ありがとうございます。じゃあ、続きまして、鈴木委員、お願いいたします。

鈴 木 委 員) 私も下位委員と一緒に、啓林館と東書どちらがいいかなというふうに考えてたんですけども、やはり探究心が理科は絶対必要という意味で、探究心の評価が非常に高かったのは啓林館だったので、私は啓林館。

教 育 長) ありがとうございます。私も啓林館を推したいと思います。理科ですので、最近理科離れという話が多いですが、そういう中でも、とにかく実験というものは非常に重要視していきたいと思っています。その中で、観察と実験の中で、目的、方法、結果、考察というものがしっかりと分かりやすくされております。

ただ、一方、ページの的に考えると、観察、実験の手順を掲載した裏面に結果の表示が置いてあることが多くて、一面ですぐに結果が見えない。自分たちで一回考えてみないと結果は出てこないという、これは紙面の作り方でしょけれども、こういうことも一つの工夫かなと思っています。

さらに、これも委員から話が出たと思いますが、1冊で資料集や振り返りシート、問題集の要素が含まれている内容となっていることも評価をした内容です。

意見が大体出たと思いますが、ほかに何か理科についてご意見ございますでしょうか。よろしいですか。

そうしますと、「理科」の教科書につきましては啓林館になろうかと思いますが、いかがでございましょうか。

委員全員) 異議なし。

教育長) ご異議なしと認めます。よって、「理科」については啓林館の教科書を採択させていただきます。

続きまして、「音楽(一般)」について、事務局のほうから説明をお願いいたします。

学校教育課指導主事) それでは、続いて「音楽(一般)」についてご説明させていただきます。

2つの教科書ともに見やすく、改訂のたびに改良されてきている。譜めくりが見やすく、歌いやすいように考えられていることや、日本のポピュラー音楽が多く掲載されていることから、第1候補は教育芸術社、第2候補は教育出版です。以上です。

教育長) ありがとうございます。音楽(一般)については、第1候補が教芸、第2候補が教出となっています。各委員のほうからご意見を伺います。清水委員、お願いいたします。

清水委員) 私は教芸に1票とさせていただきたいと思います。まずは、両社ともよくできた教科書だと思います。ソーラン節など、日本の独自の音楽などを扱ったページなど、教芸が見やすい構成であると考えました。

採用されている楽曲が、中学生に親しみやすいポピュラー音楽が多く、導入のページで、教芸は上白石萌音さんという音楽性も優れており、若い世代に人気の女優が紹介され学ぶ上で関心を持ちやすいと考えます。教育出版のほうも、ユーチューバーで有名なピアニストの方が紹介されており、どちらももちろんいい内容だとは思いますが、全体的に教芸の構成が葉山町の音楽の授業として採用するに適していると考え1票とさせていただきたいと思います。

教育長) 下位委員、お願いいたします。

下位委員) 私は教育出版に1票入れさせていただきたいと思います。歌唱、鑑賞、創作というふうにカテゴリー分けをされて記載されておりまして、非常に分かりやすかったです。あと、冒頭に学習マップというページがありまして、カテゴリーごとの関連性が分かりやすく記載されていました。あと、年表に團伊玖磨さんが載っていることも、葉山町としてはうれしいことかと思えます。

ちなみに、教芸の、ウェブ連動コンテンツが充実しておりまして、音楽という教科の特性に合っていました。ほとんどの曲に伴奏の音源がついていまして、授業で使うというよりは、自宅学習にも使えるのかもしれないし、教室で授業を受けられない生徒さんにとっても有用なコンテンツなんじゃないかなと思いましたが、結論としては、教育出版のほうに入れさせていただきます。

教育長) ありがとうございます。小峰委員、お願いいたします。

小峰委員) 私は教芸を推したいと思います。小学校でも中学校でも、音楽については教育出版と教芸の2社が教科書を提供してくださっていますが、全体的なイメージとして、教育出版のほうが易しいというか、教芸のほうが割と専門性が高い教科書かなという思いを持っています。小学校のときは、専科の先生が必ずしも指導するとは限らないので、教育出版を推したと思いますけれども、中学校については、専科の先生がなさるので、そういう意味では配慮しなくてもいいかと思います。

教芸の一番よかったと思うのは、指揮についてですね。1年生から詳しく説明されているということ。声や楽器だけじゃなくて、自分の身体で音楽を表現するということが、その難しさは指揮にはあると思いますけれども、それを1年生のときから指導していく、それに向かわせるという、そういう姿勢がいいなと思いましたので、教育芸術社、教芸を推したいと思います。

教育長) ありがとうございます。鈴木委員、お願いします。

鈴木委員) 私もどっちも同じぐらい、甲乙つけがたいんじゃないかなという感じがします。小峰委員言われたように、教育出版のほうが、子どもとしては分かりやすいということも僕も感じてますので、私は教出で。

教育長) ありがとうございます。私は教芸のほうを推したいと思います。小峰委員から話がありました、指揮、コンダクターの解説というのが非常に詳しく書かれている。音楽はいわゆる体を使ってどういうふうに表示するかというのは非常に重要なことだと思っておりますので、ある意味では指揮というものは全体を指揮する場でもありますし、さらに自分を表現する場でもあると思いますので、楽しく音楽を扱っていただきたいというところ。それから、全体的にレイアウトが教芸さんのほうがいいかなと感じました。これ主観ではございますけれども。そんな形で教芸を推させていただきます。

そうしますと、「音楽（一般）」の教科書は教芸さんになろうかと思いますが、いかがでございましょうか。特にご意見は大丈夫でしょうか。

それでは、「音楽（一般）」の教科書は教芸さんになろうかと思いますが、特にご意見がなければ、ご異議なしと認めたいと思いますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

委員全員) 異議なし。

教育長) それでは、よって、「音楽（一般）」については、教芸の教科書を採択させていただきます。

続きまして、「音楽（器楽）」について、事務局、説明をお願いいたします。

学校教育課指導主事) それでは続いて、「音楽（器楽）」について説明させていただきます。

2つの教科書ともに見やすく丁寧に作られている。リコーダーの運指について表示の仕方が異なっている。一般と器楽は同じ会社がよいであろう。流行りの親しみやすい音楽が扱われていることから、第1候補は教育芸術社、第2候補は教育出版

です。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。器楽については第1候補が教芸、第2候補が教出となっています。各委員の意見を頂きたいと思います。清水委員、お願いいたします。

清 水 委 員) 私は教芸を1票とさせていただきます。音楽の教科書と同じ出版社がいいというご意見もありまして、その点も大きく重要視いたしましたし、どちらも本当によくできているんですが、楽譜を見比べたときに、教芸のほうが見やすい、すっきりしていると感じまして、教芸とさせていただきますと思います。

教 育 長) ありがとうございます。下位委員、お願いいたします。

下 位 委 員) この教科も各社の違いを見つけるのが非常に難しかったです。紹介する楽器はほぼ同じでありまして、奏法についてもほぼ変わらない説明でありました。指導要領でそうなっているのかもしれませんが、日本発祥の楽器にかなり重きが置かれているように見えたので、ヨーロッパ発祥の楽器ももうちょっと紹介してほしいなんて思いながら拝見させていただきました。

教育出版の「音楽の贈り物」というタイトルがよかったと思います。あと合奏のページ数が教育出版のほうが充実していましたので、授業の中でも使いやすいんじゃないかなと思いました。という理由で私は教育出版に1票入れさせていただきますと思います。

教 育 長) ありがとうございます。小峰委員、お願いいたします。

小 峰 委 員) 私も教芸です。理由は、清水委員がおっしゃったことに大分重なるんですけども、まず、楽譜が大変見やすいということと、それから音楽（一般）と教科書は同じほうがいいだろうということ、それは確かだと思いますので、教育芸術社のほうを推したいと思います。

教 育 長) 鈴木委員、お願いいたします。

鈴 木 委 員) 2社とも遜色はないなど。さっき下位委員が言われたように、やはり子どもは使いやすい、授業しやすいほうが私はいいと思って考えておりますので、教育出版で。

教 育 長) 私は教育芸術社のほうを推したいと思います。お話があったとおり、2社のほう、本当に甲乙つけがたい形で教科書が作られています。楽譜の見やすさ等の言及がございましたが、これ、ここの部分と、それから打楽器の奏法等も丁寧に説明されているところを取らせていただいたところと、当然（一般）で教芸を推させていただきますので、それに合わせて教育芸術社という形で推させていただければと思います。

そうなりますと、「音楽（器楽）」の教科書は教芸になろうかと思いますが、何かご意見ございますでしょうか。よろしいですか。

そうしますと、ご異議ないということですので、ご意見もございませんので「音楽（器楽）」の教科書については教芸ということで採択させていただきます。よろしくお願いいたします。

続きまして、「美術」について、事務局のほうからお願いいたします。

学校教育課指導主事) それでは、続いて「美術」について説明させていただきます。

各社の特徴としては、開隆堂。題材ごとに掲載されている写真は小さいが、参考になる作品の掲載が多くある。内容をイメージしやすい。表紙に凹凸の質感、ゴッホやカウディの作品は、背景はマット印刷、作品を光沢印刷で質感を変え、印象的に作品を見せている。

光村図書。題材ごとに主となる作品があり、大きく写真が掲載されている。見る人を引きつける工夫がされている。質感の違うページがあり、工夫されている。資料が附属しており、折り畳んで机の上に置いて制作しやすい。

日本文教出版。小さい写真が多い。見開きで進んでいくコンパクトな構成。表紙・裏表紙で一体の写真になっている。

以上、3社の中で採択検討委員会の候補となったのは、第1候補は光村図書、第2候補が開隆堂です。光村図書は題材ごとに主となる作品があり、大きく写真が掲載されていて、見る人を引きつける工夫がされていることが評価されました。開隆堂は作品の掲載が多くあり、内容をイメージしやすい点が評価されました。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。美術については、第1候補が光村、第2候補が開隆堂となっています。では、各委員のご意見頂きます。清水委員、お願いいたします。

清 水 委 員) 私は光村図書に1票とさせていただきたいと思います。私は日本文教出版と光村で非常に悩んだんですけども、正直。それぞれ個性が違いまして、日文はまとまりよく、1冊でも理解ができるような構成になっている。ですが、光村に関しては美術1資料が非常によくまとめられていて、特に色の三原色の説明については理解を深めるのに適した資料だと感じました。

ですので、やはり STEAM 教育のアートという面で、より学びを深めていく点では光村図書が優れていると思い、1票とさせていただきたいと思います。

教 育 長) 下位委員、お願いいたします。

下 位 委 員) 私も光村図書に1票入れさせていただきたいと思います。まず最初に気がついたのは、日本画のパートだけ紙を変えているところですね。通常のページはコート紙だと思うんですが、日本画のページだけ和紙のような紙になっていました。すいた紙のような質感がありまして、生徒に、伝える工夫がなされているなというふうに感じました。

デザインのパートでは主に商業デザインについて学んでいます。どのように表現したら消費者に伝わるか、ポスターやピクトグラムなどを紹介していました。

あと、これだけでなく、映像作品の表現方法やプロダクトデザイン、パッケージデザインを学ぶセクションがありまして、生活や社会の中の美術、美術文化という中に関わる資質・能力というところなんではないでしょうかね、こちらを養うことにも力が

入れられていると思いました。

あと、裏表紙のバーコードにちょっと遊び心があっていいなと思いました。

以上の理由から光村を推させていただきます。

教 育 長) ありがとうございます。小峰委員、お願いいたします。

小 峰 委 員) 私も光村図書を推したいと思います。まず、各ページが大変魅力的でした。下位委員がおっしゃったように、紙の工夫もあるし、写真の大きさですとか色ですとか、そういう意味では子どもたちが、これからやってみたいなと思えるような、気持ちをそそられる、そういう題材の示し方をしているなと思いました。

それから、美術1の資料という分冊がついてるのも大変使いやすいというか、子どもが手元に持っているのにはいい冊子かなと思いました。

以上の点で光村図書を推したいと思います。

教 育 長) 鈴木委員、お願いいたします。

鈴 木 委 員) 私は最初、開隆堂がいいかなと、子どもたちも見やすそうだと思ったんですけど、実は今日ここに来るまで、自分としてはどっちにするか決めてきませんでした。理由はですね、清水委員がプロですので、それに従おうと思いましたので、光村で。

教 育 長) 私は光村を推したいと思います。非常に美術作品を含めて、大きく写真が掲載されているのが非常にいいというところ。それから、下位委員も話がありましたが、プロダクトデザイン等々についてもしっかりと言及がされているところ。それから、美術1資料という形で、小峰委員もおっしゃっていましたが、道具や素材の内容に特化した冊子がついているというところも、また美術にとってはいいんじゃないかというところで、光村を推させていただきます。

「美術」は全員光村ということですね。光村ということで採択させていただいてよろしいでしょうか。

それでは、「美術」の教科書は光村を採択させていただきます。

続きまして、「保健体育」、事務局よりお願いいたします。

学校教育課指導主事) それでは、続いて「保健体育」についてご説明させていただきます。

各社共通して知識の定着と実生活にどう生かすかを大切にされています。

次に各社の特徴です。東京書籍。主体的・対話的で深い学びを通して、知識と教養を育成しようとされている。

大日本図書。レイアウトが左に文章、右に資料という作りになっており、見開きでその資料と文章が見やすい形の構成になっている。

大修館書店。保健分野と体育分野とのつながりを意識して作られている。

学研。話し合い、ロールプレイングの仕掛けが幾つかある。

以上、4社の中で採択検討委員会の候補となったものは、第1候補が東京書籍、第2候補が学研です。東京書籍は、実生活に生かされる工夫があることが評価されました。学研は、生徒が主体となってロールプレイングが行えるようサポートする

教材がある点が評価されました。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。保健体育については、第1候補が東書、第2候補が学研となっています。各委員の意見を伺います。清水委員、お願いいたします。

清 水 委 員) 私は保健体育については東京書籍に1票とさせていただきたいと思います。学びを自分事として考えることの重要性を意見で何度も申し上げてまいりましたが、例えば心肺蘇生の記述などを見ると、東京書籍は順序立てて分かりやすく、AEDの扱いに関しても写真なども分かりやすく掲載されているという点で、学びが自分の生活に役立つという観点においても優れていると思いました。また、思春期を迎えている中学生の教育で、性教育の部分なども丁寧に表現されているということに好感を持ちましたので、東京書籍とさせていただきたいと思います。

教 育 長) 下位委員、お願いいたします。

下 位 委 員) 私は、学研に1票入れさせていただきたいと思います。ほとんどの項目、「ウオームアップ」という課題の問いかけがございまして、その単元のヒントを提供していました。これによって、短時間で興味・関心を引いて、課題に気づけるような仕組みになっているのがよかったと思います。

さらに、「学びを生かす」というところでは、今学んだ知識を深めるような工夫がされていました。章末にも学んだキーワードや「振り返りに生かそう」などがございまして、まとめがしっかりできるように感じます。

デジタルコンテンツのほうですが、ワークシートがあるんですけども、PDFで提供されていたので、印刷しないといけない。せっかくのデジタルデータなので、デジタルで完結するようによかったと思います。

教 育 長) 小峰委員、お願いいたします。

小 峰 委 員) 私も学研です。今回、保健の教科書を見てちょっと不思議に思ったのが、これだけ話題というか、私たちの生活に大きな影響を与えた新型コロナウイルスの感染症についての扱いが各社非常に小さいということでした。中学生はまさにこのコロナ禍でいろいろな思いをして過ごしてきた子どもたちであるので、これを取り上げることは必要じゃないかなと思ったんですが、教科書にそれが無いのが大変不思議でした。そういう意味で言うと、学研と大修館が、ほかに比べてきちんと取り上げられていたということの評価したいと思います。学研ではほかに、LGBTのことについてもきちっと記述があったという点で評価したいと思います。

そういう意味で、保健については学研を推したいと思います。

教 育 長) 鈴木委員、お願いいたします。

鈴 木 委 員) 私も総合評価からすると、東京書籍はもう首一つ出てるんですよ。全体評価が高いということで、私は東京書籍。

教 育 長) 私は小峰委員と同等で、やはり学研を推したいんですが、やっぱり新型コロナの、たくさんみんなマスクをして歩いている写真がドーンと載ってるのは、ある意味で歴

史的にも非常に重要な時期だと思っております。ああいうものが保健体育の中でしっかりと語られているのは必要だと思いますので、そこについてはやはりポイントが少し高いかなと思っております。

そういう中で、東京書籍さんもしっかりと当然作られてますし、ほかの教科書さんもそうでございますけれども、私は学研を推させていただきたいと思っております。

「保健体育」の教科書は一応学研になろうかと思っておりますけれども、各委員のほうでご意見ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、ご異議なしと認めます。よって、「保健体育」につきましては学研の教科書を採択させていただければと思います。よろしくお願いたします。

続きまして、技術・家庭の「技術」について、事務局より説明をお願いいたします。

学校教育課指導主事) それでは、続いて「技術」について説明させていただきます。

各社の特徴としては、東京書籍。各章ごとに問題解決例が豊富に示されていることや、作業工程例が図で示されていることなど、生徒にとって分かりやすい工夫がなされている。他教科マークが掲載されており、他教科との関連が分かりやすい。

教育図書。安全指導の内容が書かれており、指導しやすい。別冊「スキルアシスタント」によって、問題解決の流れが分かりやすく示されている。

開隆堂。ガイダンスページで見方・考え方、PDCAサイクルが示されているなど、授業への入り方が分かりやすい。

以上、3社の中で採択検討委員会の候補となったものは、第1候補は東京書籍、第2候補は教育図書です。東京書籍は、生徒が実際にやってみたいと思える例示がある点が評価されました。教育図書は、問題解決の流れが分かりやすい点が評価されました。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。技術については、第1候補が東書、第2候補が教育図書となっております。各委員のご意見頂きます。清水委員、お願いたします。

清 水 委 員) 私は東京書籍を1票とさせていただきたいと思っております。紹介されている事例が分かりやすいのと、技術というエンジニアリングの部分でやはり再現性を高めていく必要があると思っておりますので、分かりやすい紙面構成というのは重要ではないかと思っております。

また、技術が単体の学びではなく、『他教科マーク』をつけることで、ほかの学びとつながっていることが明確にされているという点が、やはり何度も申し上げますが、STEAM 教育を強化していく点で採用するのにふさわしいと考えましたので、1票とさせていただきます。

教 育 長) ありがとうございます。下位委員、お願いたします。

下 位 委 員) この技術という教科ですが、中学校の3年間しかない教科でございます。授業時間数も少ない割には範囲が広いと聞いております。材料と加工、生物育成、エネル

ギー変換、情報の技術と、こういった分野がございまして、3年間あって、これが学び切れるのかな、といったところです。

私自身は情報通信が専門分野ですので、ここを中心に確認をさせていただきました。東京書籍は、古くからあるスクラッチというプログラミング言語を利用しております、葉山町の場合小学校でも触れている可能性が高いので、子どもたちにとっては入りやすいのではないかなと思います。

問題の発見、課題の設定は複数回にわたり、より深い課題を生み出していました。問題解決の評価・改善・修正というプロセスがあるんですが、これも実際のプログラミングの現場に近い観点で構成されていたのが評価できると思います。プログラミング授業自体はプログラムすることが目的ではなく、論理的な思考を身につけることだと思います。そういった意味でもこちらの教科書は適していると思いました。

あと教育図書さんのほうもちろん悪くなかったと思うんですけども、アクティビティー図の解説は非常に丁寧だったんですけども、フローチャートの記述がほぼなかったような気がします。

そういった意味でも東京書籍のほうに私は1票入れさせていただきたいなと思っております。以上です。

教 育 長) 小峰委員、お願いします。

小 峰 委 員) 私も東京書籍を推したいと思います。さきの清水委員、下位委員がおっしゃったことと重なる面は省略させていただきますけれども、やはり見やすいというか、説明が大変分かりやすい。それから、他教科マークをつけて、いろいろな分野と関連付けているというのも、技術・家庭では大変ポイントが高いものではないかと思います。一番はやはり見やすい、それから、自分で評価・改善をするページがあるという点で、東京書籍を推したいと思います。

教 育 長) ありがとうございます。鈴木委員、お願いいたします。

鈴 木 委 員) 私も東京書籍と教育図書との関係は、それはどちらも同じぐらいの評価だなと。表現を見ててもそう違いはないんですが、今、3人のお話を聞いてる限り、やっぱり生徒の使いやすさということで、私も東京書籍で。

教 育 長) ありがとうございます。私も東京書籍を推したいと思います。下位委員のお話もありましたが、やはり情報通信系の中でプログラミング考えていくときに、フローチャートの解説がしっかりとされていないというところは少しくエスチョンマークがあると思っております。身近なものや関連性をしっかりと書かれているところもございまして、東京書籍を推したいと思います。

「技術」につきましては全員東書ということですので、そのまま採択させていただいてよろしいですか。

委 員 全 員) 異議なし。

教 育 長) それでは、「技術」につきましては東書を採択とさせていただければと思います。

続きまして、「家庭」について、事務局、説明をお願いいたします。

学校教育課指導主事) それでは、続いて「家庭」について説明させていただきます。

各社の特徴としては、東京書籍。一連の学習過程や問題解決の流れに関する説明が巻頭で掲載されており、授業の展開の流れがつかみやすい。実践的・体験的な活動における資料が豊富である。

教育図書。巻頭に学習過程や課題解決の流れに関する説明が掲載されているため、授業の展開や流れをつかみやすい。生徒に考えさせるきっかけづくりが各所に展開されており、丁寧である。

開隆堂。他教科や小・中接続を意識した作りとなっており、関連する内容には「他教科マーク」「小学校マーク」が掲載されている。また、図やイラストといった、視覚情報が豊富である。

以上、3社の中で採択検討委員会の候補となったのは、第1候補は東京書籍、第2候補は教育図書です。東京書籍は、中学生の実情に合わせた例示が多く、内容理解につながりやすい点が評価されました。教育図書は、生徒の思考につながる工夫が各所に展開されている点が評価されました。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。家庭については、第1候補が東書、第2候補が教育図書となっています。各委員の意見を伺います。清水委員、お願いします。

清 水 委 員) 家庭については、東京書籍もとてもいい内容でしたが、私としては教育図書に1票とさせていただきたいと思います。図や写真などが分かりやすいというのが一番大きな点です。例えば調理実習などは、ハンバーグなどの手順が一番分かりやすく表現されているのが教育図書だと思います。また、生活に密着していく教科ですので、SDGs ですか、日本文化の観点からも教育図書の紙面構成が非常に分かりやすいと考えまして、1票とさせていただきたいと思います。

教 育 長) 下位委員、お願いします。

下 位 委 員) 私は東京書籍に1票入れさせていただきたいと思います。核家族化が進んだからなのか、超高齢化社会に突入するからなのか、高齢者との関わり方や介護に関する単元が充実していました。各章の頭にこの章のめあてが明示してありました。併せて小学校の家庭科とのつながりも書いてあるため、生徒の皆さんにも分かりやすいかと思います。セクションの終わりに確認、思考、資料があって、まとめもしやすくなっておりまして。あと、ほぼ全てのページにQRコードがありまして、デジタルのコンテンツも充実しておりまして。という理由から東京書籍に1票入れさせていただきたいと思います。

教 育 長) ありがとうございます。小峰委員、お願いします。

小 峰 委 員) 私は開隆堂を推したいと思います。例えば調理など、料理のページなどは本当に料理本かと思うぐらい、大変鮮やかな、きれいな写真が載っているというのも子どもたちの興味をそそるものだと思います。

あと、一番大きな決め手は、家族の在り方について書かれているページで、いろいろな家族の在り方、家庭の在り方があるよというところをきちんと示しているという点は、今の時代、大変大切なことだと思いましたので、そういう姿勢を買って、開隆堂です。

教 育 長) 鈴木委員、お願いします。

鈴 木 委 員) 私も東京書籍で。やはり生徒の理解がしやすいという評点は高いので、それが一番大事だろうと思ってますので、東書。

教 育 長) 私も東書を推させていただければと思います。各委員のほうからも話が出たと思いますけれども、小学校とか他教科のつながりが分かりやすく表記されている部分はいいのではないかと。ただ、ほかの部分でも、どうしても家庭の中で必要な部分の項目についてはしっかりどこも書かれていますので、非常にまた甲乙つけがたいなと思いますけれども、東京書籍の中の先ほど申した部分を推したいと考えます。

「家庭」につきましては、少し意見割れましたが、何かほかにご意見ございますでしょうか。よろしいですか。

そうしますと、「家庭」につきましては東書になろうかと思いますが、いかがでございましょう。

委 員 全 員) 異議なし。

教 育 長) では、ご異議なしという形にさせていただきます。よって、「家庭」につきましては東書の教科書を採択させていただきます。

「外国語」について、事務局より説明をお願いします。

学校教育課指導主事) それでは、続いて「外国語」について説明させていただきます。

各社の特徴としては、東京書籍。Read and Think では長めのまとまった分量の本文を読むことで、読解力をつけることができる。各 Unit の冒頭に GOAL が示されており、振り返りや自己評価をしながら学習を進めることができる。

開隆堂。各 PROGRAM、「とびら」が設けられており、学習の見通しがつけやすいようになっている。各 Unit では、本文の後に本文の内容を要約し、生徒が自分の言葉で伝える Retell、さらに自分の考えを深め発表する Action で構成されている。

三省堂。各 Unit の最後に分量が多めの読み教材や、分量は多くないが様々なタイプの読み教材と、それに対する自分の考えをまとめ、やり取りがよりつながる Goal Activity がある。巻末資料には、読み教材や会話表現、ロールプレイ教材などが含まれている。

教育出版。「Activities Plus」では、約 2 Lesson 毎に学んだ内容項目を踏まえた、話すことの活動が設定されている。配列は、従来では上級学年で扱われる文法事項を早めに扱い、3 年時の最後に 2 つのディスカッションやディベート力をつけるための Lesson となっている。

光村図書。Goal ではテーマに沿った読み教材から各活動や発表までつなげられる

よう構成されている。また、各 Unit の Goal や年 3 回用意されている「You Can Do It!」では、グループ内でやり取りをしたり、協力しながら発表したりする活動が用意されており、技能総合的な活動も設定されている。ほぼ全てのレッスンは物語としてつながっている。

啓林館。各 Unit は設定されたテーマ学習を中心に構成されており、英語を通して国際理解を深めることのできる内容になっている。Unit の最初に学習到達目標を明示し、生徒自身が何ができるようになるかを意識しながら自立的に学習を進められるように工夫されている。また、Unit の最後では目標に対する振り返りができるようになっている。

以上、6 社の中で採択検討委員会の候補となったのは、第 1 候補は光村図書、第 2 候補は東京書籍です。光村図書は、生徒にとって身近な部活動や友情といったテーマについて取り扱っており、そのため生徒が自然に「次を読み進めたい」という意欲が持ちやすくなる点が評価されました。東京書籍は、補強教材として海外の生活に触れることのできる教材や、長めの読み教材がある点などが評価されました。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。外国語については第 1 候補が光村、第 2 候補が東書となっています。清水委員からご意見頂きます。

清 水 委 員) 私は光村に 1 票とさせていただきたいと思います。ただし、小学校では三省堂を採択いたしましたので、小学校と中学校の学びのつながりという点では、非常に悩んだところでございます。英語教育というのは国語力が大事だと考えております。日本人として世界で働いていく上で、日本語能力が外国語能力にもつながっていくと考えたときに、光村図書のイラストやストーリー展開が分かりやすく、物語が頭の中に入ってくる、自分がきちんと理解した上で英語を学んでいくという点に重きを置かれている点ということで、光村図書に 1 票とさせていただきたいと思います。

教 育 長) ありがとうございます。下位委員、お願いします。

下 位 委 員) 私も英語に関しては光村図書に 1 票入れさせていただきたいと思います。冒頭に英語を学ぶ理由、英語の学び方というものが載っておりまして、改めて英語の大切さを考えることができます。ユニットごとに明確なルールが設定されており、まとめと振り返りができる構成になっていました。学年に 3 つ用意されている「You Can Do It!」では、グループでの活動や発表、スピーキングをする活動がありました。また、ICT の活用を促すような活動になっているのも特徴です。

あと、巻末の「CAN-DO List」で学んできたことへの達成度をチェックすることができます。7 人のキャラクター出てくるんですけども、学校生活や友人関係の話を中心にユニットがどんどん進んでいきまして、全ての物語がつながっているように工夫されていまして。親しみやすく、分かりやすい内容じゃないかなと思います。

以上の理由から光村を推させていただきます。

教 育 長) ありがとうございます。それでは、小峰委員、お願いします。

小 峰 委 員) 私も光村図書を推したいと思います。今、お2人の委員がおっしゃったように、大変物語が分かりやすく、子どもたちにとって学びやすい教材であるということは大事です。それから、文法の扱いが、先にいろいろ会話があって、その後に、こういう会話の中で出てくる、これがb e動詞だよというような形で文法が出てくるといのは大変好ましいかなと思います。

一つ、私の反省なんですけれども、前回の採択のときには三省堂の文法が文法らしく取り扱われている点を評価して、三省堂を推した覚えがあるんですけれども、小学校から今、外国語活動が入ってくることを考えると、やっぱり文法ありきではなくて、子どもたちの様々な活動の中から、これがb e動詞であるとか、こういうときにはこういうもの、現在進行形というのが使われるよというように、子どもたちがいろいろ学んでいる中で自然に文法を押さえていくというような教科書は大事だなと思いました。そういう点でも光村図書を推したいと思います。

教 育 長) ありがとうございます。鈴木委員、お願いします。

鈴 木 委 員) 文法だとか何とかそういうものって、教科書ですから大事なんだろうと思うんです。しかし私は、自分で海外で仕事をしている関係もあって、言葉は聞けてしゃべれないことにはどうにもならないと。その力をどうにかして養ってほしいという観点から教科書を見させてもらった限り、光村さんがいいかなと思います。

教 育 長) ありがとうございます。私も光村を推したいと思います。ストーリー性がしっかりしていることや、読みの領域別の「CAN-DO L i s t」をしっかりしていることなどがあるというところを買わせていただきます。

「外国語」は全て光村でございますので、採択については光村ということによろしいでしょうか。

委 員 全 員) 異議なし。

教 育 長) よろしくお願いします。

教科最後になります。「特別の教科 道徳」になります。事務局、よろしくお願いいたします。

学校教育課指導主事) それでは最後に「特別の教科 道徳」について説明をさせていただきます。

各社の特徴としては、東京書籍。身近な題材と現代的な課題を扱った教材がある。ユーチューバーや分身ロボットなど、生徒にとって身近な題材を取り入れている。防災、SDGs、多様性などの現代的な課題を考える教材が充実している。「Plus」や学期ごとに学習を振り返ることができたり、心に残ったことを書いたりする活動があり、生徒の気持ちの変容や人間性などの涵養につながる教材がある。

教育出版。内容項目別教材一覧表や、1時間に学べる学び方、1年間の学びの見通しがしやすいように工夫されている。いじめ防止や、自分や周りの命を大切にす

る項目や、情報モラルなどの重点テーマを取り上げている。「やってみよう」では、自分事として物事を捉えられるような体験学習ができるような構成になっている。

光村図書。全ての人を持つ人権に関する知識や人権感覚を身につけることができる。付録に「学びの記録」があり、1年間の振り返りがまとめやすく、考えの変化を捉えやすい。

日本文教出版。道徳の学び方について、「どうやって学ぶの」「どんなことをするの」にまとめられている。考える道徳、議論する道徳につながるように教材末付録の「考えてみよう」「自分にプラスワン」には、内容が深められる設問が設定されている。

学研。生徒の実生活に関連づけながら、SNSや情報モラルについて学べる教材が3年間を通して設定されている。いじめ防止に関する教材が含まれている。

あかつき。現代的な課題を取り上げた教材が豊富で、生徒たちの考えを深める学習ができる。「マイプラン」のページで体験型学習や議論が深まるように構成されている。生徒にとって身近な著名人を題材にし、取り組みやすいよう配慮されている。

日本教科書。AIとの関わりについて触れられている。ウェルビーイングカードを使い、自他の考えや気持ちの変化を可視化することができる。3年間を通して、同一人物の心の成長や感情の変化を考える題材がある。

以上、7社の中で採択検討委員会の候補となったものは、第1候補は東京書籍、第2候補は光村図書です。東京書籍は心に残ったことを書いたりする活動があり、生徒の気持ちの変容や人間性などの涵養につながる教材がある点が評価されました。光村図書は、物事を多角的に捉えられるように工夫されている点が評価されました。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。道徳については第1候補が東書、第2候補が光村になっています。各委員のご意見を頂きます。清水委員、お願いします。

清 水 委 員) 道徳に関しては、私は東京書籍に1票とさせていただきたいと思います。自分事として考えるべき教科の1番に挙げられるものの一つだと思いますが、「プラス」というコーナーなど、学びを振り返る仕組み、自分の考えを見つめることができる教科書だと思います。いじめ防止などの観点では、漫画、イラストが非常に分かりやすく、どれがいじめに当たるでしょうというように、自分で考えて意見を出す、促すような仕組みになっているという点が好感を持ちましたので、東京書籍とさせていただきたいと思います。

教 育 長) ありがとうございます。下位委員、お願いします。

下 位 委 員) 私は光村さんに1票入れさせていただきたいと思います。いじめ、命、情報モラルについての単元が毎年あり、学年に応じて内容が変化していきます。冒頭に道徳の学習の仕方、22のキーワードから始まりまして、道徳道案内という、1年間に学

ぶ内容を見開きで解説しているところもよかったです。漫画風な単元やイラストとセリフなど、生徒が入りやすい工夫も幾つか見られました。あと、3年生最後の単元が命と向き合う内容になっており、この教科書を作った方の思いを感じました。

あと、光村さんはやはり物語が得意なのかなと思いました。この道徳に関しては物語でいろいろと考えていくことが多い教科でございますので、そういった意味でも光村さんに1票かなと思います。以上です。

教 育 長) 小峰委員、お願いします。

小 峰 委 員) 私は光村図書を推します。もう、まず一つの決め手は、道徳の学習を始めようという最初のページの中に、まず1番、答えは1つではないということが大きく書かれていることが、これはもう本当に大事なことだなと思いました。そういう気持ちを持って道徳の授業に臨むんだよということを生徒たちに伝えていくことを大事にしたいと思います。

ただ、道徳の教科書こそ1冊で済ませるのではなくて、子どもの実態に合わせて、本当にこれだけあるたくさんの教材文の中から一番適したものを選んで与えたいなということを思います。例えば、学研の3年生の中でデジタルライフをテーマにして2つの文章が紹介されていたんですね。一つは「スマホを置いて旅に出よう」という文章、それからもう一つは、「自分らしくSNSを使おう、付き合おう」という文章は、ぜひ子どもたちに触れさせたいなと思いました。私が推している光村図書には載っていない文章ですけれども、そういうものを先生たちは何とかうまく関連づけて紹介してほしいし、道徳の教科書を1冊だけに絞るのは本当に心苦しいというか、そうであってほしくないなという気持ちもありますが、あえて1冊を選ばなければいけないということであれば光村図書です。以上です。

教 育 長) 鈴木委員、お願いします。

鈴 木 委 員) 各教科書ぜひ触れてほしいのはね、生まれてから小学校上がるまでの間に、家庭教育の大事さ、それが、道徳とはちょっとかけ離れるかもしれませんが、マナーとかルールとかね、日本の文化だとかね、最低限のことは家庭で教えなくてどうするんだというふうな、そういう書き方はあまりよくないと。そういうものを表示する道徳の教科書が欲しいなと。どうもその部分が日本の教育で抜け落ちてるんだろうと私は常々思っていますので、それが無いのは若干残念だなと思っています。ただ、分かりやすさだとか使いやすさ、それから道徳というものを考える力という意味からすると、光村の評価が高いので、私は光村で。

教 育 長) ありがとうございます。私は東書を推したいと思います。道徳だからこそ読み物というよりは、いかにアウトプットさせるかに力点が置かれているかというのが重要だと思っていますので、そういう意味では東書さんが最終的にリフレクションに近い形のものをしっかりと書いて、必ずしっかりとされているところであったりとか、そういうところを含めて、これから先に、思ったものをいかに言葉にする、あ

るいはそれを表現をするというところに力点を置いているところで東京書籍さんを推しました。

「特別の教科 道徳」の教科書は光村になろうかと思いますが、何か各委員のほうでございますでしょうか。よろしいですか。

ご異議なしと認めます。よって、「特別の教科 道徳」は光村の教科書を採択いたします。

以上で 16 種目の審議が終わりました。これまでの審議により採択とした教科用図書を確認させていただきます。事務局のほうで確認をし、読み上げをしてください。お願いいたします。

学校教育課指導主事) では、採択したものを種目別に読み上げさせていただきます。

国語、光村図書。書写、光村図書。地理、帝国書院。地図、帝国書院。歴史、帝国書院。公民、帝国書院。数学、数研出版。理科、啓林館。音楽（一般）、教育芸術社。音楽（器楽）、教育芸術社。美術、光村図書。保健体育、学研。技術、東京書籍。家庭、東京書籍。外国語、光村図書。特別の教科道徳、光村図書。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。ただいま事務局より 16 種目の教科用図書の確認をしていただきましたが、修正漏れ等ございませんね。大丈夫でしょうか。

それでは、以上で令和 7 年度使用中学校教科用図書について全ての採択を終了いたしました。

次に、学校教育法附則第 9 条本についてですが、事務局から説明をお願いいたします。

学校教育課指導主事) 小学校から願い出がございましたので、採択の承認を求めます。

第 9 条による教科用図書の採択につきましては、小学校教科用図書と同一のものを拡大した国語の教科用図書であることを申し添えます。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。これより質疑を行います。質疑等ございますでしょうか。よろしいですか。

質疑がなければ、これにて終結いたします。

学校教育法附則第 9 条本による教科用図書の採択について、承認することにご異議ありませんか。

委員 全員) 異議なし。

教 育 長) ご異議なしと認めます。

以上をもちまして、議案第 10 号「令和 7 年度使用中学校教科用図書の採択について」を終了いたします。

(閉会宣言)

教 育 長) それでは、本日の日程は全て終了いたしましたので、これにて閉会といたします。時刻は 15 時 28 分です。ありがとうございます。